

クラス番号	334	担当教員名	山 口 み ほ
		他専修学生受入上限人数	1 名
テーマ	医療福祉・精神保健の現場から社会福祉を考える		
ゼミナール概要			
【目的】 本ゼミでは、患者（当事者）・家族や現場の支援者の声を直接聴くことを大事にしながら、以下のことを目指します。 ①医療福祉・精神保健福祉の現場で患者（当事者）・家族の生活にあらわれている社会福祉問題を具体的にとらえる ②それらの問題に関わる制度・政策の実態をさぐる ③患者（当事者）・家族の生活問題の解決・軽減に資する援助のあり方を考える 【授業計画（内容・方法）】 ゼミ活動の内容・方法・スケジュールの詳細は、話し合っていて決めていきたいと思います。あくまでも、ゼミ生による自主的・主体的なゼミ運営を期待します。 ただし、大まかな活動目標として、以下の取り組みを提示しておきます。 ①3年次には、文献学習を行った上で、保健・医療・福祉機関への訪問学習を実施し、レポートを作成する ②3年次後期から、ゼミ・テーマのもとに各自が自分の学習テーマを設定し、卒業研究の計画を立てる ③3年次の春休みにゼミ合宿もしくはゼミ学習会を行う ④4年次の夏季までに、各自のテーマに関わるフィールドで実習（正課／課外）もしくはフィールドワーク、調査等に取り組む ⑤ゼミ生全員が学習計画および学習成果の報告の機会を持つ このほか、随時ゼミ生の立案・運営による企画（ゲスト講義、関係団体の活動への参加、事例検討会、ディベートなど）も取り入れていきます。 【その他】 ①MSW、MHSW 関連団体の研修会や患者会・家族会活動等の情報を随時紹介しますので、積極的に参加してください。 ②本ゼミでは卒業論文の作成は必須と考えてください。			
担当教員からのメッセージ			
私自身の MSW（総合病院）、MHSW（依存症を専門とする精神科診療所）および福祉専門職のスーパーバイザーとしての経験やネットワークを皆さんのゼミ活動のサポートに活かしたいと思っています。 MSW、MHSW を目指している人、医療福祉・精神保健福祉に関わる社会問題を深く考えたいという人を歓迎します。 副次的な目標となりますが、ゼミ活動を通じて、これまで養ってきた「調べる力」「読む力」「考える力」「書く力」「表現する力」「他者と協働する力」などを十分に発揮すること、さらに高めることも目指したいと思っています。これらの力は、保健・医療・福祉の現場で専門職として働く際にも当然必要とされるものです。			